

2024年9月20日
全国港湾第24 発第15号

四役・中央執行委員
各 単組委員長 殿
地区港湾議長(委員長)

全国港湾労働組合連合会
中央執行委員長 竹内 一



第17回定期大会の決定に基づく当面の取り組みに関する指示

1. 全国港湾第17回定期大会の若干の経過と決定について

- (1) 全国港湾は、24年9月18～19日にシーパレス日港福(豊橋市)において、第17回定期大会を開催した。大会は、議長団に古澤代議員(日港労連)・尾崎代議員(全倉運)を選任し、第一号議案(23年度の主な取り組み経過)、第二号議案(24年度運動方針)、第三号議案(産別ストライキ権の確立)、第四号議案(23年度決算・24年度予算)、及び、24年秋年末闘争方針について審議した。
- (2) 大会は、竹内委員長代行の開会挨拶に始まり、真島中央執行委員長が冒頭に大会開催にあたっての挨拶を行った。真島委員長は、24春闘は、各産業間・企業間で人員確保のための賃上げが行われ、港湾はそれに追いついていないし、労働時間短縮も急務と指摘した。また、PORT2030構想は着実に展開されており、主要港への集中と地方港のフィーダー化、AIターミナルなどの機械化で雇用と職域を脅かされ、港湾産別の生き残りをかけた取り組みが求められていると強調した。また、政府の政策による雇用不安とのたたかい、港湾を兵站基地にする「特定利用港湾」に反対する取り組みの強化をよびかけ、こうした課題に立ち向かう産別組織の強化を進める大会での意思統一を提起した。
- (3) 大会は、第一号議案・第二号議案及び24秋年末闘争の取り組みについて、一括で討論し、16人の代議員による積極的な討論で方針が補強され、執行委員会提案の議題は、すべて満場一致で採択した。続いて、大会は、24年度のたたかう方針を確立のうえで、24年度(第17期)の役員を選出を行い、竹内一委員長、松永英樹代行をはじめとする、新たな執行部を確認した。
- (4) 大会は、大会宣言、並びに「港湾を兵站基地化するな！今こそ平和と安全を」特別決議を採択し、石橋副委員長が、24年度のたたかう方針が確立したこと、新体制の下で魅力ある港湾労働確立へ、産別団結で運動を前進させようとの閉会の挨拶を行い、竹内委員長の発声による団結ガンバローで成功裏に閉じることとなった。

2. 労使協議、行政との協議を中心とした当面の取り組み指示について

第 17 回定期大会後に開催した第 1 回中央執行委員会(第 17 期)は、大会決定を踏まえ、当面の取り組み方針について意思統一を行った。

については、第 17 回定期大会の決定、並びに第 1 回中央執行委員会(第 17 期)の確認にもとづき、各単組・地区港湾は次の当面の取り組みを促進するよう指示する。

(1) 24 年度(第 17 期)の執行体制について

各単組は、24 年度(第 17 期)の執行体制について、10 月 7 日(月)～8 日(水)に予定している第 2 回中執までに各単組で選任し、書記局に登録すること。その体制については、第 2 回中執で確認する。

(2) 第 17 回定期大会で提起された次の諸課題について、第 1 回中執は、次の通り取り組むことを確認した。各単組・地区港湾は、方針に対応して、諸課題の推進を図りたい。

① 次の課題について、関係行政に確認・事情聴取などを、書記局を中心に取り組む。

ア、SOLAS 条約に沿ったフェンス内に「防犯無線はあるが、防災無線がないため、津波などの対応ができない」ことについて、書記局より各港に対して「同様の問題がないかを調査」するので、各地区港湾は、調査に協力されたい。

イ、秋田港において、能代運輸(株)が事業許可のないまま港運事業を行っていることについて、運輸局に抗議していることを踏まえ、国交省に、本件の事情聴取を行うので、その結果が判明し次第、当該地区において必要な取り組みを進めること。詳細は別途指示する。

ウ、和歌山県日高港(非開港)で大阪ガスがバイオマス発電用の木質ペレットを輸入することについて、港湾運送事業法との関係などについて、国交省に事情聴取を行うこととするので、その結果が判明し次第、当該単組・地区において必要な取り組みを進めること。詳細は別途指示する。

エ、本船の安全などを査察する取り組みの際、外国船舶監督官が適切に配置されていないために、十分な点検や改善が進まない問題について、監督官の人員やその配置などの体制について、本省に問い合わせることとしたので、詳細が判明し次第、各単組・地区港湾に周知する。

オ、以上のア～エについては、労政懇話会や秋闘の申し入れでも取り上げていくことを検討する。

② バルク戦略港湾政策によって、事業と雇用に問題が生じている課題、高知港の重量計の設置の課題は、秋闘の申し入れ課題で取り上げていくこととする。

③ 指定事業体からの本体採用などで、48 歳以降に入社された方の港湾年金制度の受給資格を見直す課題については、23 春闘協定で専門委員会での協議を確認しており、検数・検定部会での協議とするために、専門委員会の持ち方も含めて整理し、協議を

進めていくよう検討していく。

- ④ 年末年始例外荷役に係る件は、「正月休日」履行の立場で労使政策委員会で協議していく。

(3) 労使政策委員会(9月 24 日)に向けた対応方針について、第 1 回中執は、次の意思統一を行ったので、再確認されたい。

- ① 労使政策委員会の課題について、すでに主要な協議課題を整理し日港協に手交しており、これらを24春闘(仮)協定を基本に協議を進める。

- ② とくに具体化が急がれるものは以下の通り

ア、料金問題(価格転嫁)の取り組みの進捗の確認と取り組み促進。併せて、料金 P/T の具体的取り組みへの足掛かりを作る。そのために、折衝の場を設けるなど、具体的な前進をはかれる状況を作る。また、内航フィーダー化に伴う作業料金が半減する問題も協議していく。

イ、石炭荷役問題について、「連絡対策会議」に「事業継続・雇用確保」の視点で労使が共同して対応するようスタンスを確認する。

ウ、指定事業体問題の責任は「日港協にあり、24 春闘協定履行」することを再確認のうえ、日港協に対策の具体化を迫る

エ、横須賀フェリーに関する四者協議の開催を確認する

オ、安全専門委員会で、24 春闘(仮)協定、特に元請も関与した熱中症予防具の整備や放射線検診の実施状況の検証を求めよう申し入れていく。

- ③ 正月休日の例外荷役の要請が想定されるが、方針に則り基本的に「休日実行」を主張する。

3. 24 秋年末闘争に係る、中央・地区統一行動について

- (1) 第 17 回大会において確認した、24 秋年末行動について、各単組・地区港湾は、次の取り組みを取り組むこと。

(2) 中央行動は、11 月 6 日(水)~7 日(木)とし、具体化は、実行委員会(単組書記長・教宣委員会)で進め、具体的取り組みについては別途指示する。

- ① 各単組・地区港湾は、中央行動への参加のための日程を確保すること。

- ② 申し入れ書については、書記長会議で検討を進めており、地区港湾の統一行動(10 月 21 日~11 月 1 日)に活用できる準備を行う。

(3) 上記の地区行動について、各地区港湾は当該統一行動に合わせて、関係行政などへの申し入れや、地区独自の行動を企画・準備すること。なお、具体的な行動については、各地区港湾議長(委員長)に一任する。

また、各単組は、地区統一行動の成功に向けた縦指示を取り組むこと。

4. 中央労働委員の推薦の取り組みについて

- (1) 第38期中労委労働者委員の選任に当たって、全国労働委員会対策会議(全労連・純中立労組懇・M I Cで構成)より、三浦宣子さん(医労連顧問)と山田規世則さん(建設関連労連顧問)の推薦要請を受けた。中労委労働委員は、連合加盟組織推薦者で構成されていたが、34期から非連合推薦委員が選任され、さらに一般企業担当委員を推薦して、非連合組織の意見をより多く反映できるようとの要請で、第1回中執は、この要請を踏まえ、団体署名の取り組みを進めることを確認した。
- (2) ついては、各単組・地区港湾は本取り組みの推進を行うこと。具体的な取り組み方法などは別途指示する。

5. 地区港湾の大会等の日程とオルグ派遣について

地区港湾の大会(下記日程)へのオルグ派遣に取り組む。これまでの、地区港湾の大会、オルグ派遣は下記の通り。()内は派遣者で、空欄は調整中。

北海道港湾	11月14日(メッセージ)
東北港湾	10月24~25日(玉田)
日本海港湾	10月15日(調整中)
東京港湾	10月25日(竹内)
川港労協	11月8日(竹内・玉田)
全横浜港湾	11月11日(竹内)
駿河港湾	10月25日(メッセージ)
名港労協	10月26日(玉田)
大港労協	10月16~17日(糸谷港労研副所長)
神戸港湾	10月2~3日(玉田)
四国港湾	7月25日(メッセージ)
関門港湾	11月1日(玉田)
博多港湾	10月25日(竹内)
鹿児島港湾	7月 日(メッセージ)
沖縄港湾	8月24日

6. 今後の日程

<2024年>	9月24日(火)10:30~	労使政策委員会
	14:00~	石炭荷役問題連絡対策会議
	15:30~	I T F—J C
	30日(月)11:00~	中央事前協議会
	13:30~	第1回常任中央執行委員会
	10月 1日(火)10:00~	教宣委員会
	14:00~	日港福業務委員会
	16:00~	I T F 打ち合わせ

- 10月 2日(水)10:00～ 教宣委員会
7日(月)13:30～8日 第2回中央執行員会(於:神戸)
9日(水)13:00～ 日港協挨拶
10日(木)18:00～ 20 労組打ち合わせ会議
12日(土)～21日(月) ITF 世界大会/マラケシュ(モロッコ)
22日(火)10:00～ 第1回四役会議
28日(月)11:00～ 中央事前協議会
13:30～ 第2回常任中央執行委員会
29日(火)14:00～ 安定協会制度専門小委員会
31日(木)13:30～ 各地区港湾事務局長会議
- 11月 5日(火)13:30～ 第3回中央執行委員会
6日(水)～7日(木) 24 秋年末闘争中央行動
10日(日)～11日(月) こくみん共済coop 研修会(高島)
11日(月)10:00～ 第3回常任中央執行委員会
13日(水)～15日(金) ITF 会計内部監査
20日(水)13:30～ 第4回中央執行委員会
- 12月 2日(月)10:00～ 第4回常任中央執行委員会
10日(火)13:30～11日(水) 第5回中央執行委員会
16日(月)10:00～ 第5回常任中央執行委員会
20日(金)18:30～ 日航争議を支える会/本社前行動
23日(月)10:00～ 第2回四役会議
- <2025年> 1月 6日(月)10:30～ 第3回四役会議
11:30～ 日港福会館内旗開き
14日(火)10:00～ 第6回常任中央執行委員会
2月 4日(火)09:00～ 第6回中央執行委員会
13:30～5日 11:30 第17回中央委員会

*要求提出の第1回中央港湾団交は、25年2月12日(水)を念頭に準備する。

以 上